

今年一年の担任としての思い

今週水曜日から、いよいよ新年度がスタートしました。3年担任として、全員の進路実現を目指すとともに、胸を張って全員が卒業式を迎えられるような一年にしていきたいと思います。そのために、今年一年を次のような目標で頑張りたいと思います。

1. 全員の進路希望実現

いよいよ中学校生活の最後の一年がスタートします。そして、次のステップに進むために、進路を決定していきます。自分で進路を決め、実現に向けて努力を続けていく、そんな一年になります。

進路を決めるには、様々な情報を集め、比較し、助言をいただき、話し合い、そしてたった一つを決めていきます。一つを決めるということは、そのほか全てをあきらめるということです。非常に大事な一年です。そして、その希望を実現させるためには、たくさんの努力も必要です。自分が決めたことに納得できるような、そんな進路を実現させてほしいと思います。

こんな文章を見つけました。『若い頃は「判断する」ってことを、「正しい方を選ぶこと」だと思ってたけど、「判断するって事は、選んだ結果を受け入れること」と思うようになってから少しずつ人生うまくいくようになった気がする。正直何が正しかったかなんて、相当先じゃないと分かんないよ。』自分が選んだ結果を受け入れられるような、そんな進路を決定していければと思います。

2. 凡事徹底

学校は勉強だけであれば良いところではありません。ルールやマナー、約束事など集団として生活するために大事なことがたくさんあります。中学生として生活してきて、多くの事を学んだと思いますが、今年一年はさらに「当たり前のことを当たり前に」進めてほしいと思います。

難しいことはありません。時間と約束を守る、相手の気持ちや立場を考えて行動する、提出物を期限までに出す…といった一つ一つのことを守っていけばよいと思います。できている人も多いでしょう。だからこそ、もう一度全員でしっかりと行っていきましょう。

特に、今年は進路関係の提出物が多くなります。外部への提出は一分でも遅れれば受け取ってもらえないほど厳しいものです。そのような学年になったという自覚をもってください。

3. 努力を続ける才能をもつ

将棋で永世七冠を獲得した羽生善治さんが次の言葉を述べています。「何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。」

報われないかもしれない、でも努力を続けるという才能は、きっと誰にでもあると思います。できるかできないかだけだと思います。ぜひ、この一年間、努力を続けてほしいと思います。



これらの3つのことを常に頭に入れて頑張っていきたいと思います。3月13日まであと339日です。一日一日を大切にしていきましょう。どうぞよろしくお願いします。

保護者の皆様、本年度も担任として、全員が自分の目標に向けて精一杯頑張っていけるように支援していきたいと思います。そして、素晴らしい卒業式を迎えさせたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。